

(平成 29 年 10 月試験研究業務月報)

試験研究課題：新品種育成に関する試験 交雑育種試験

研 究

## 害虫に強い新品種の育成に向け、人工交配をしています

当所では、残留農薬基準が日本より厳しいEU向けの輸出に対応できる減農薬栽培と、はさみ摘み<sup>※1</sup> てん茶<sup>※2</sup> の需要増加に対応するため、病虫害に強く高品質なはさみ摘みてん茶用新品種の育成に取り組んでいます。

茶が開花する 10 月～11 月にかけて、京都府で広く栽培されている高品質なてん茶用の 2 品種と、クワシロカイガラムシ<sup>※3</sup> に強い品種の人工交配を行っています。

今後は、本交配により形成された種子を播き、生長した個体の中から、クワシロカイガラムシに強く、かつ品質が良い個体を選んでいきます。

※1 はさみ摘み……動力摘採機等を用いて摘む方法。

※2 てん茶……茶芽の生育期に被覆資材をかぶせて遮光栽培し、揉まずに乾燥した茶。

※3 クワシロカイガラムシ……茶樹の枝に寄生し、茶樹の樹勢を衰えさせる害虫。多発すると、落葉や枝の枯死など茶樹に大きな被害を与える。



人工交配（受粉）の様子



交配用の茶樹  
(計画外の虫による交配を防ぐため、  
ネットで囲っています)